

新しい函館のためのいかロボットの開発と運用（グッズ広報班）

新山健太 本部健太 蛭澤諒太 吉田雄

概要

グッズ班広報班は IKABO に関するグッズ制作・販売と SNS などによるイカボの広報を主な活動としている。

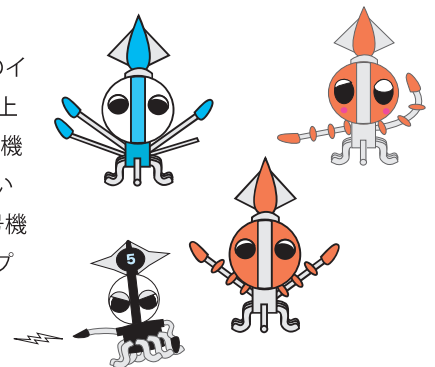
グッズ販売・製作



イカボの広報活動を担っているグッズ広報班では、前期に参加した花と緑のフェスティバルというイベントに参加し、そこでグッズの販売を行った。左の画像にある 1500 円の T シャツ、ライト付きボールペン、1000 円の T シャツ、マグネットをイベントに来てくれた方に何万円という利益をあげることはできなかったがいくつか販売することができた。そこでもっと売るにはどんなことをすればいいのだろうかということを考えてさせられた。今年度に販売するのはもう遅いが来年は北海道新幹線が開業するのでマグネットのように新幹線とコラボレーションすると多くの人に興味を持ってもらえると考えた。また今期は 11 号機のための資金集めが苦しかったため新しいグッズを製作することはできなかった。

イラストの作成

グッズ製作に備えていかロボットのイラストを作成した。右のイラストのイカボ 11 号機のイラスト、イカボ 1 号機のイラストを 2 つ、イカボ 5 号機のイラストを 1 つを作成した。右上のいかロボット 1 号機のイラストは色々な人が親しみやすいようなイラストにした。11 号機のイラストは北海道新幹線開業に合わせ新幹線とコラボレーションしたグッズを製作したいと考えている。今期は北海道新幹線開業に合わせ、函館を盛り上げるために製作する 11 号機製作の資金集めのためにグッズ製作をすることができなかったが、来年度のいかロボットプロジェクトの学生には今期作ったイラストを用いてグッズを製作して欲しいと考えている。



11 号機作成のための資金集め



私たちのプロジェクトでは 11 号機制作についての資金が不足していたので、クラウドファンディングという方法で資金を集めようとした。クラウドファンディングは、目標とした金額満額にならないと募金を受け取ることができなく、結果クラウドファンディング自体は失敗してしまった。しかし杉本トキさんという方が新聞に載ったイカボの記事を読み、個人的に 300 万円寄付をしていただき、結果 11 号機作成のための資金を集めることができた。現在発注中で 2 月頃完成予定である。

SNS による情報拡散

新しい函館のためのいかロボットプロジェクトの活動を PR するために、twitter と FaceBook をプロジェクトで始めた。twitter や FaceBook では逐一、イベントの情報をつぶやき情報拡散をしてたくさんの方に見ていただいた。twitter では朝日新聞のクラウドファンディングサイト「A-port」にフォローしてもらった。来年度のこのプロジェクトに参加する学生に引き継ぎこのアカウントを活用してもらいたいと考えている。

